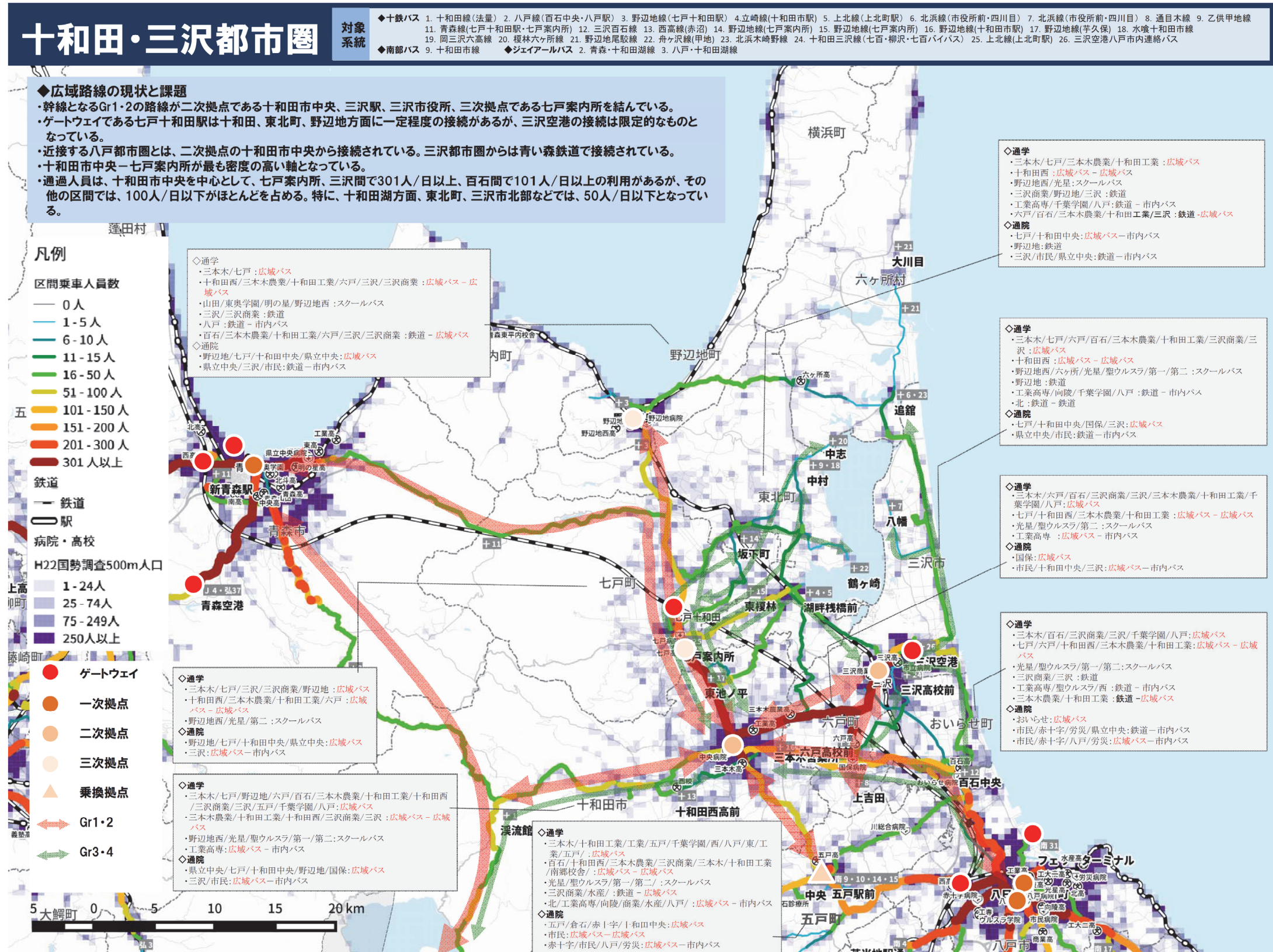


⑤十和田・三沢都市圏（上北圏域）

◆現状や課題

- 1) 交通ネットワーク：十和田市中央バス停（二次拠点）と三沢駅、市役所・公会堂前（二次拠点）が圏域の中心となっている。八戸市～十和田市～七戸町（七戸十和田駅）～野辺地町間で多くの利用があるが、それ以外は利用が限られる路線が多い。また、三沢市と十和田市間では鉄道代替バスの運行がされている。
- 2) 利用のしやすさ：圏域の北東部エリアでは、集落が点在し、複雑な路線網となり、需要も少ないため、運行本数も限られている。
- 3) 維持・持続性：平野部が広がり集落が点在する圏域の北東部エリアでは、広域バスネットワークの集約化が難しい。

現況図



◇今後の方向

- 1) 交通ネットワーク：基軸となる十和田市と三沢市間、八戸市～十和田市～七戸町（七戸十和田駅）～野辺地町間を結ぶ路線を活かしながら、他の利用が限られる路線・区間や地形的要因から統廃合が難しい路線については、一層の利用促進や効率化・再編を検討していく。
 - 2) 利用のしやすさ：圏域の拠点では、運行ダイヤの接続をはじめとする乗継環境の向上に努める。
 - 3) 維持・持続性：基軸となる十和田市と三沢市間、八戸市～十和田市～七戸町（七戸十和田駅）～野辺地町間を中心として広域路線バスネットワークの維持に努める。
- ※十和田・三沢都市圏の地域公共交通網の形成にあたっては三沢市地域公共交通網形成計画等との整合・連携を図る。

拠点および基幹ネットワーク図

